



平成25年(2013年)12月期 第2四半期 決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード:3386)

2013.8.9

www.cosmobio.co.jp



目次



1. 会社概要と事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・ p.3
2. 2013年12月期の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・ p.10
3. 2013年12月期第2四半期決算の概要・・・・・・ p.19

1. 会社概要と事業の内容

www.cosmobio.co.jp

会社概要

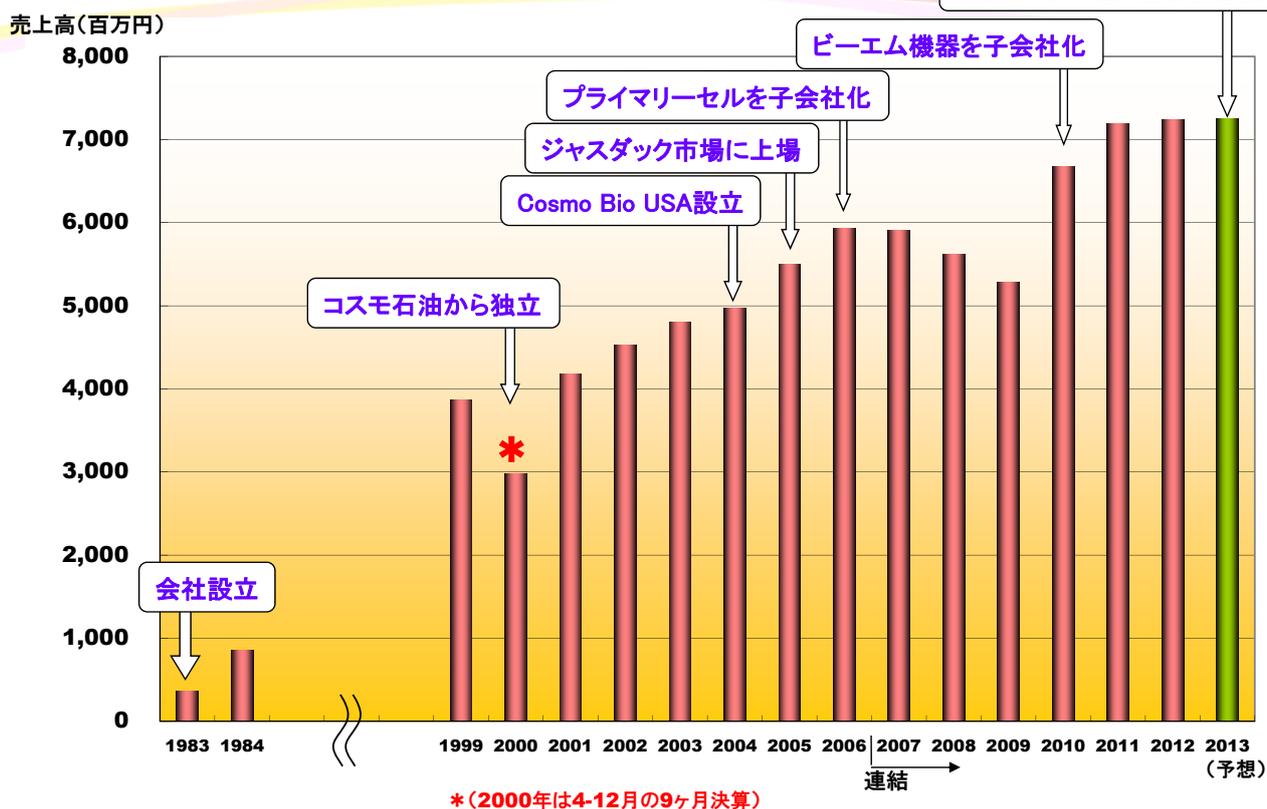


社名:	コスモ・バイオ株式会社	
業種:	卸売業	
上場市場:	東京証券取引所JASDAQ	
コード:	3386	
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目2番20号	
代表者:	代表取締役社長 笠松 敏明	
設立:	1983年8月25日	
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、 臨床検査薬の製造、輸出入および国内販売	
資本金:	918百万円	
事業年度:	1月1日から12月31日まで	
従業員数:	連結:124名 個別:90名 (2013年7月1日現在)	
連結子会社:	ビーエム機器株式会社	
非連結子会社:	Cosmo Bio USA, Inc.	

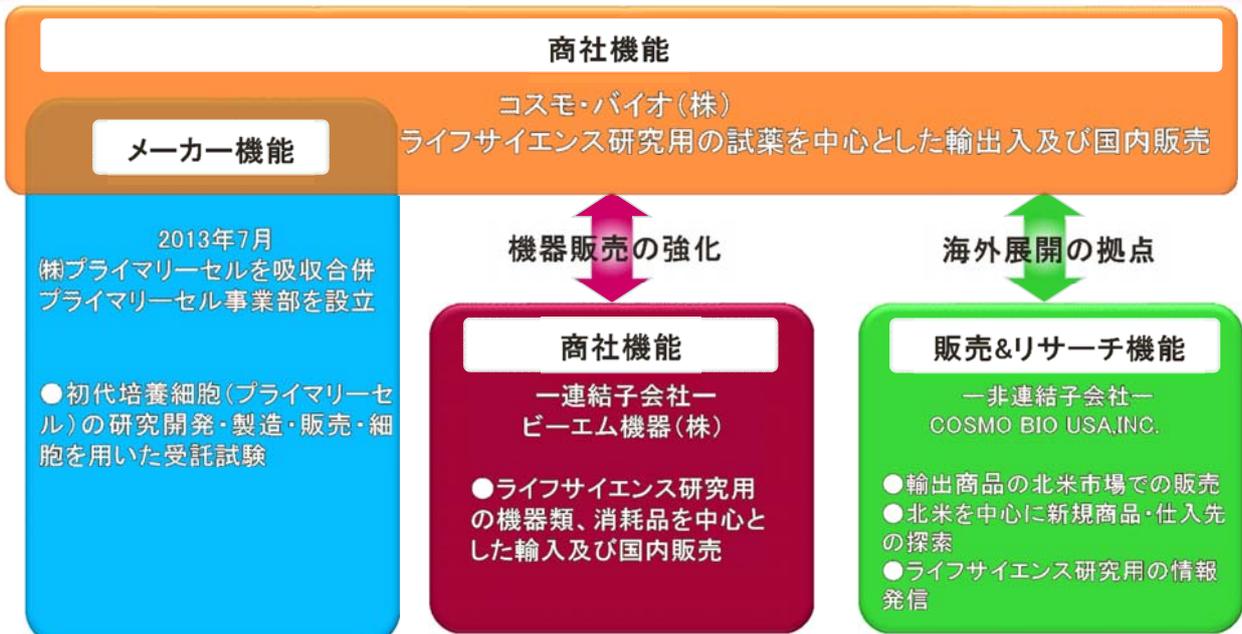
ライフサイエンス研究を支援する専門商社



当社の歩み

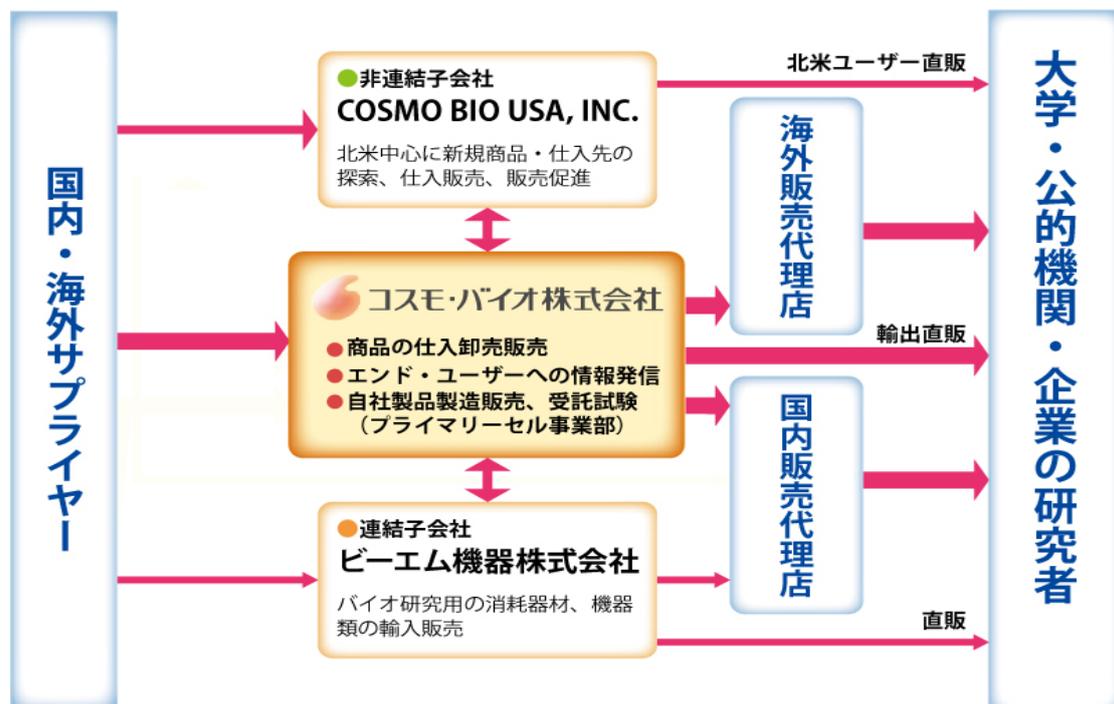


事業内容およびグループ経営体制



- 研究活動に必要不可欠な『試薬』と『機器』の両面からライフサイエンス研究を支援
- 商社機能にメーカー機能を一部複合させ、安定的な事業拡大を推進

ビジネスモデル 「世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社」



迅速な商品配送体制

- 在庫商品は、翌営業日の朝10時までには代理店にお届け
- 代理店から研究者へは、手渡しでその日のうちに納品
- 研究者から求められる商品をできるだけ早くお届けし、研究のスピードアップに寄与する、という考えのもと、在庫設定の最適化に取り組み中

約600社の仕入網



約200拠点の代理店網



2. 2013年12月期の取り組み

www.cosmobio.co.jp

2011年からの取り組み(3カ年計画)

活力ある成長企業を目指す

ビジョン

- 第一に選ばれる研究開発支援の会社
- 世界のライフサイエンス研究に貢献
- 多角的な事業基盤の強化

<取り組み>

- | | |
|---|--|
| <p>1. 事業規模の拡大</p> <ul style="list-style-type: none">● 売上アップ・シェアアップ● 有望分野への集中● 海外展開の推進 | <p>3. ビジネスの多角化</p> <ul style="list-style-type: none">● 周辺の新規ビジネスの探索● 仕入先と連携したビジネス展開 |
| <p>2. コーポレートブランドの高揚</p> <ul style="list-style-type: none">● ライフサイエンス研究支援で最も信頼される企業● 誇れる会社● 自社品の充実 | <p>4. 経営の効率化・合理化</p> <ul style="list-style-type: none">● グループ内の業務効率化— 仕入、販売、物流 — |

2013年の取り組み -重点項目-

3カ年計画を見据え、今年度は下記5項目を 最重点課題として取り組んでおります

1. 自社ブランド品・注目商品拡充のための
新技術・商品導入の促進
2. 商品情報サービスの徹底
3. 海外販売網の拡充加速・代理店との関係強化
4. 有望市場分野への注力
5. 経営の合理化・効率化

1. 自社ブランド品・注目商品拡充のための 新技術・商品導入の促進

新技術・商品導入の促進

- 的確なニーズ&シーズの情報収集により、常に最新の商品を探索・導入
- 社内体制の整備による探索力増強

自社ブランド品の増強

- (株)プライマリーセルの吸収合併
- これまでなかった試薬を商品化
- 研究者との共同開発でアイデアを形に
- 日本の優れた技術を世界へ

約**600**社の仕入先

約**400万**の品揃え

自社ブランド約**4万**の品揃え



D-セリン定量キット
《最近の製品開発例》

2. 商品情報サービスの徹底

- 2011年末
Web上での商品検索システムを
リニューアル
- 2012年
商品情報の整備・充実
検索機能の徹底強化
- 2013年
引き続き、商品情報の整備・充実の
徹底



ホームページ／商品検索システム



各種カタログ、ニュースレター



セミナー・展示会

3. 海外販売網の拡充加速・代理店との関係強化

- アジア・ヨーロッパの販売代理店網を強化
(2013年6月末時点で25社)
→ 今後更に既存代理店との関係強化および新規代理店の起用により代理店網を拡充する)

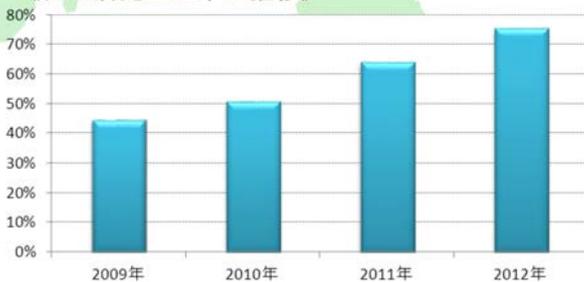
2013年末までに30代理店へ

- 米州の市場開拓を強化
 - Cosmo Bio USAを米国市場開拓の拠点とし、また世界に向けた情報発信拠点に

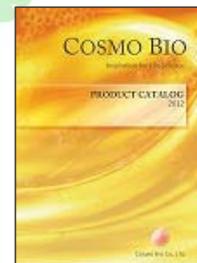


タンパク質合成キット
PURESYSTEM®

《代理店売上比率の推移》



カタログ
(2012年6月発刊)



4. 有望市場分野への注力

細胞関連分野



- 自社研究開発による新製品の投入
- 仕入先の拡充による商品品揃えの充実
- 商品・技術開発を目指した共同研究開発
- ヒト細胞を用いた受託解析サービス



RNA関連分野

- 品揃えの充実
- 受託試験サービスの積極展開



当社が提供するサービス

創薬支援分野

- 対面型提案営業による研究者へのアプローチ
- 仕入先との緊密な連携による顧客サポート



5.経営の合理化・効率化

～新物流センター開設～

2013年1月、新砂物流センターにて、物流業務を開始いたしました。

- 業容拡大に伴い配送センターを移転し、新物流センターを開設
- 物流センターの延床面積を拡張し、商品保管設備を一新
- 適切な在庫設定を図り、さらなる在庫の充実へ

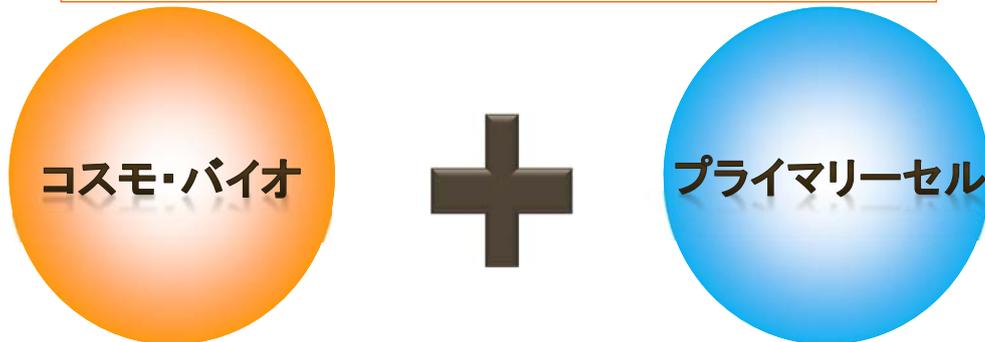


室温、4℃、-20℃、-70℃、液体窒素(-196℃)の保管エリアがあります。

5.経営の合理化・効率化

～(株)プライマリーセル吸収合併～

2013年7月、子会社(株)プライマリーセルの吸収合併を行い、プライマリーセル事業部として一体運用を開始いたしました。



- 当社は合併により以下のことを目指します。
 - 研究・開発・製造機能の一体化により、開発効率を向上させ、有望市場ニーズへの対応力を強化して自社ブランド商品のさらなる拡大を図る
 - コスモ・バイオ独自の商品・受託解析サービスのプロモーション活動及びセールス活動をより強力に推進することで、収益向上を図る

3. 2013年12月期第2四半期決算の概要

www.cosmobio.co.jp

連結業績ハイライト



売上高

【予算比】

92.9%

大学・公的研究機関:

昨年度に引き続き、上期での予算執行が慎重であった

【前年比】

96.3%

企業:

製薬企業等の基礎研究・開発案件の絞り込みで、特に創薬分野で購買活動が弱い

純利益

【予算比】

87.3%

為替は前年同期79円に比べ、14円の円安ドル高。予算90円に対しては、3円の円安ドル高で、利益減

【前年比】

68.1%

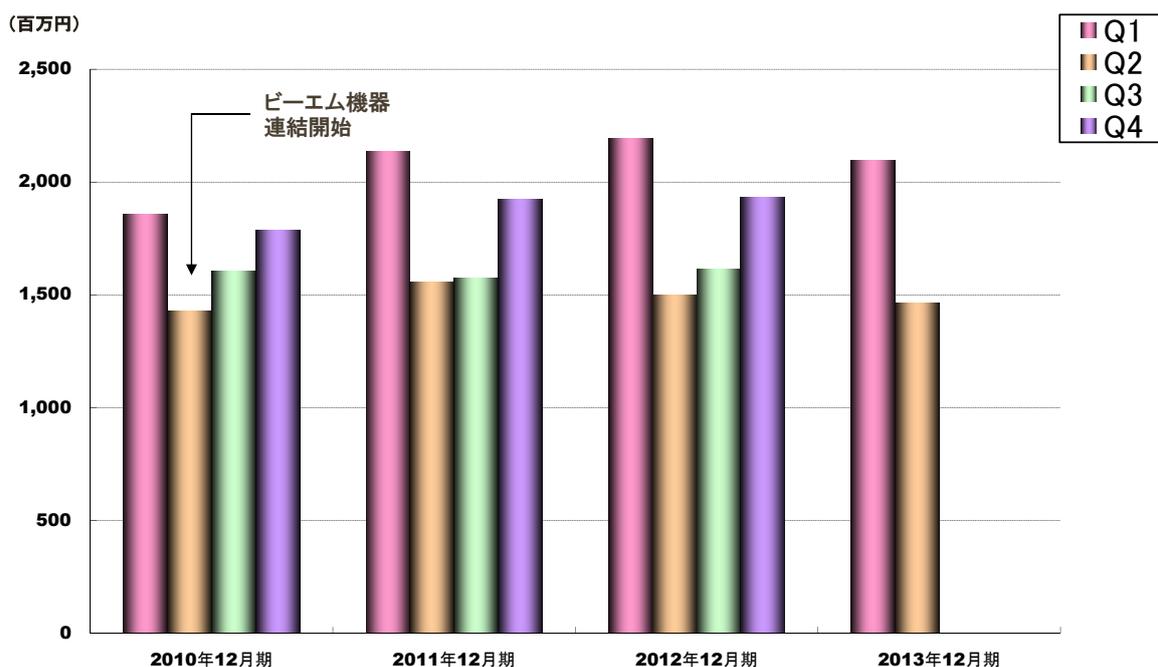
* 7/19に業績予想の修正をしておりますが、予算比は2/14発表数値より算定しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

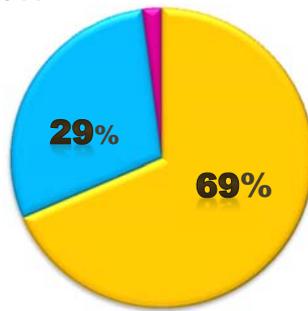
	2012年	2013年	増減額	増減率
	2Q累計実績	2Q累計実績		
売上高	3,693	3,557	△135	△3.7%
売上総利益	1,660	1,412	248	15.0%
営業利益	519	247	271	52.3%
経常利益	514	295	219	42.6%
純利益	273	186	87	31.9%

四半期別連結売上高動向

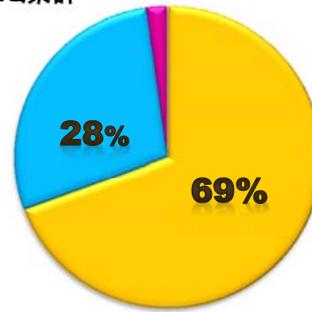


商品分類別連結売上高

2012年2Q累計



2013年2Q累計



(単位:百万円)

連結	2012年2Q累計		2013年2Q累計		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
研究用試薬	2,530	68.5%	2,468	69.4%	△61	△2.4%
機器	1,085	29.4%	1,010	28.4%	△74	△6.9%
臨床検査薬	77	2.1%	78	2.2%	0	1.1%
合計	3,693	100.0%	3,557	100.0%	△135	△3.7%

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2012年12月末	2013年6月末	増減額
総資産	6,955	9,524	2,569
流動資産	5,413	5,373	△39
固定資産	1,541	4,151	2,609
負債合計	1,234	1,894	660
純資産合計	5,720	7,629	1,908
株主資本	5,192	5,307	115
自己資本比率	75.2%	75.0%	

当社が株式を保有する企業の上場による、投資有価証券の大幅増。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2012年 第2四半期累計	2013年 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	497	266	△231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△331	193	525
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77	△77	0
現金および現金同等物の増加額	90	384	293
現金および現金同等物の四半期末残高	1,561	1,917	355

2013年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

	12/12月期 実績	13/12月期 当初予想	13/12月期 予想(修正)	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	7,241	7,530	7,250	9	0.1%
営業利益	798	549	250	△547	68.7%
経常利益	801	636	403	△397	49.7%
純利益	411	364	303	△108	26.4%
売上高経常利益率	11.0%	8.4%	5.6%	—	—

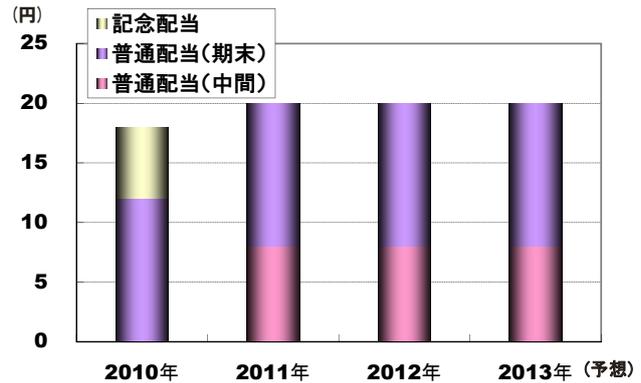
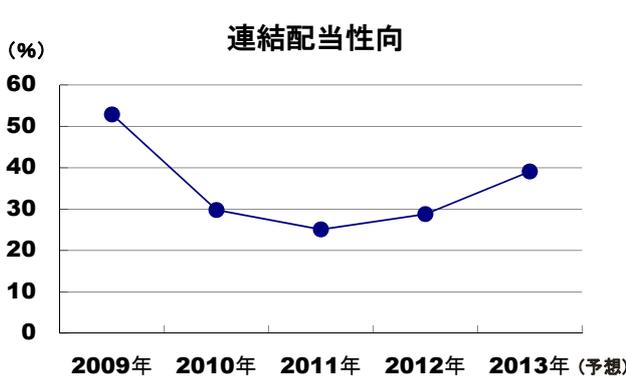
為替レート	12/12月期 実績	13/12月期 当初予想	13/12月期 予想(修正)
円/USドル	79円	90円	105円

* 13年上期実績
93円

配当について

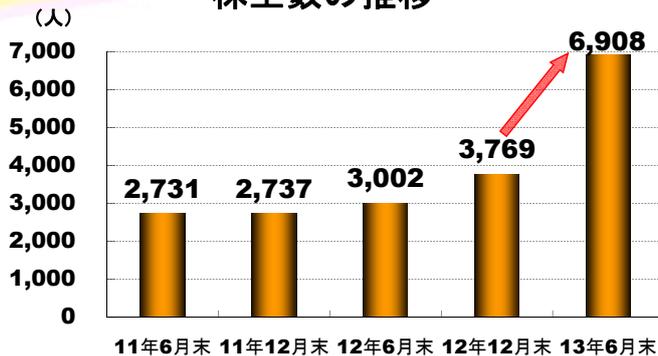
	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2013年 12月期	8円	12円(予想)	20円(予想)
2012年 12月期	8円	12円	20円
2011年 12月期	8円	12円	20円
2010年 12月期	0円	18円 (うち普通配当 12円) (うち記念配当 6円)	18円

* 2013年1月に、1株につき100株の株式分割を行っています。
1株あたり配当額は、この株式分割を2010年12月期の期首に行ったと仮定して算定しています。



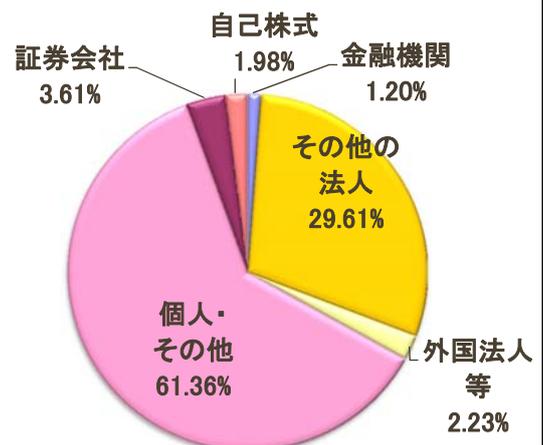
株式の状況(2013年6月末現在)

株主数の推移



発行可能株式総数	18,361,600株
発行済株式の総数	6,048,000株
自己株式数	120,000株

所有者別株式分布状況

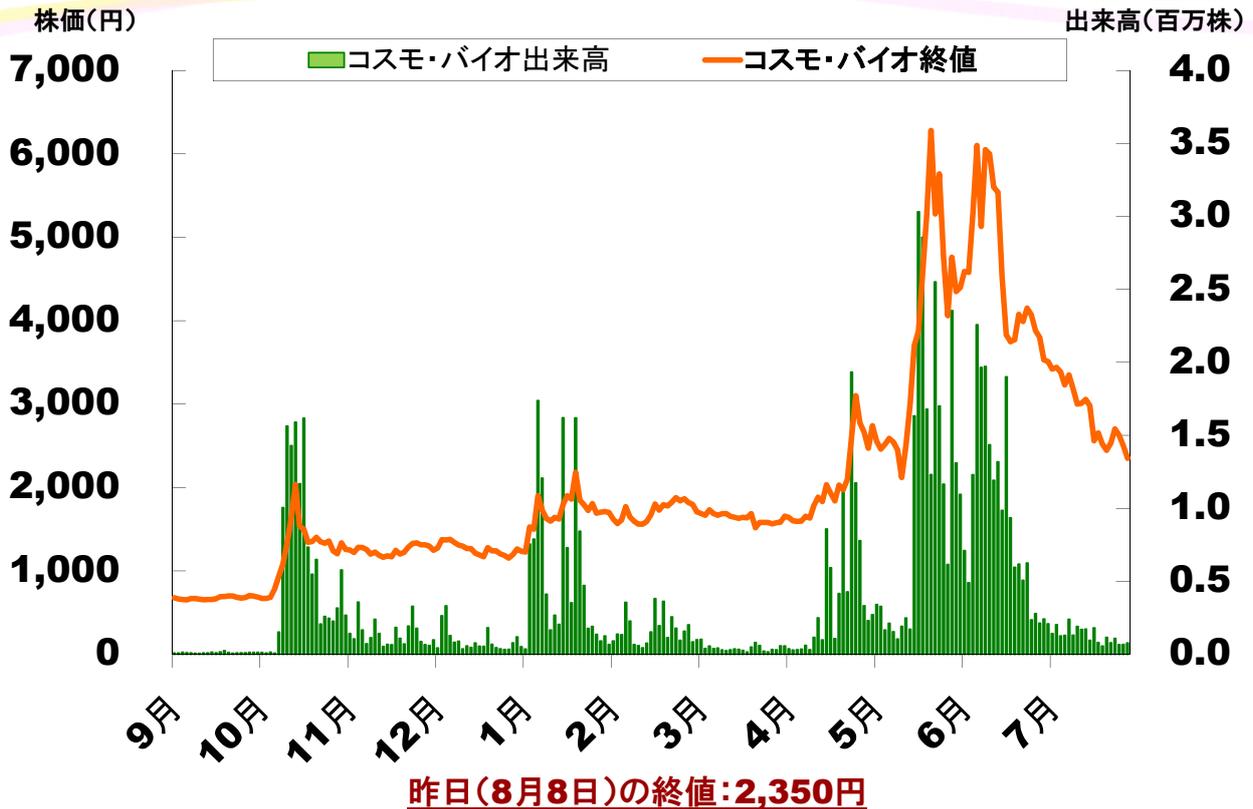


大株主状況

株主名	持株数(100株)	持株比率
東京中小企業投資育成株式会社	11,520	19.05%
コスモプロパティサービス株式会社	5,760	9.52%
コスモ・バイオ従業員持株会	2,083	3.44%
鈴木 忠	1,480	2.45%
田中 知	1,480	2.45%

注)コスモプロパティサービス株式会社はコスモ石油株式会社の連結子会社です

株価推移(2012/9/3~2013/8/8)



ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>